

【完全版】

宗教なき時代を生きるために

—オウム事件と「生きる意味」

もりおか まさひろ

森岡正博著

▼四六判・並製カバー・二五六頁・本体二、二〇〇円十税

2019年4月刊行



衝撃の初版から二四年。オウム事件や尾崎豊の死は何だったのか。生きる意味を問うたロングセラーの名著に、書下しを増補した完全版。

【目次】

完全版へのまえがき

はじめに

第一章 宗教なき時代を生きるために

- 1 「信仰」に対する違和感
- 2 生と死の新しい考え方
- 3 科学者の卵たちはなぜオウムへ行ったのか？
- 4 科学への失望
- 5 自然科学では扱えないもの
- 6 新々宗教の「科学者」勧誘パターン
- 7 私が宗教を信仰できない理由
- 8 「宗教性」の問題
- 9 あなたへのメッセージ

第二章 神秘体験とは何か

- 1 神秘体験が意味するもの
- 2 「私が変われば世界が変わる」という考え方
- 3 悟りへのあこがれ

第三章 癒しと救済の罍

- 1 オウム真理教と尾崎豊
 - 2 宗教へ向かう尾崎の音楽
 - 3 ほんとうの自分を求めて
 - 4 癒しとしてのロックンロール
 - 5 尾崎を殺したのはだれか？
 - 6 責任転嫁の共同体
- 第四章 私が私であるための勇氣
- 1 効かない処方箋
 - 2 宗教以外の方法
 - 3 宗教と現実のズレ
 - 4 こちら側の〈目隠し構造〉

力への欲望

神秘体験と信仰の狭間で

私の神秘体験

「氣功」の共同体での体験

閉じた世界で働く心理

「我々だけが正しい」という甘い蜜

敵は自分の内側にいる

煩惱の哲学

5 フェミニズムが突きつけるもの

6 オウム事件の本当の意味

7 「謎」に向かって自分を開く

あとがき

二〇一九年のあとがき

◆著者略歴

一九五八年、高知県生まれ。東京大学文学部卒。東京大学助手、国際日本文化研究センター助手、大阪府立大学教授を経て、現在、早稲田大学人間科学部教授。博士（人間科学）。早稲田大学では現代哲学、生命倫理学、研究倫理などを教えている。著書に『増補決定版脳死の人』（法藏館）『無痛文明論』（トランスビュー）『感じない男』（ちくま新書）『まんが哲学入門』（講談社現代新書）などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
森岡正博著	
法藏館	
完全版 宗教なき時代を生きるために	
ISBN: 978-4-8318-5706-4 C1010	
お名前	住所
お電話	
宗教	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp